

みどりの東北

発行日/平成21年5月
発行/東北森林管理局
秋田市中通五丁目9-16
TEL.018(836)2192

ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



親子で木工製作



苗木の無料配布には今年も長蛇の列が

平成21年度 もり 「森林の市」盛大に開催(秋田駅前)



今年も秋田駅前アゴラ広場で開催、沢山の来場者で賑わいました (詳細は5ページで紹介)

トピック

特集

国有林の「レクリエーションの森について」

国有林野管理課

美しい森林づくり

「子供たちの未来を育む遊々の森を目指して」

仙台森林管理署

我が署の隠れた名所

下北森林管理署「猿ヶ森埋没林」



東北森林管理局では、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

特集コーナー

国有林の

「レクリエーションの森」

～利用者のニーズに合わせたリフレッシュ対策～

国有林野管理課



林野庁は、森林浴、自然観察、野外スポーツ等の多様な森林とのふれあいの場の提供を通じて、豊かな国民生活の推進に寄与するため、昭和四十八年に「レクリエーションの森」制度を創設しました。レクリエーションの森（以下「レク森」と表記。）は、全国に約千二百箇所ありその内の約二百箇所が東北森林管理局管内にあります。

レク森は、その設定目的により次のとおり区分されます。

国有林全体のレク森の利用状況は、平成四年の二億四百万人をピークに、平成十年頃まで漸減傾向が続き、その後一億五～六千万人で推移しています。

利用の傾向は、バブル経済の崩壊以降、特にスキーをはじめとするスポーツ・レジャー型のレクリエーション利用が大きく減退する

名称	用途等
自然休養林	風景が優れ、自然探勝、ハイキング、キャンプ場等に活用する森林
自然観察教育林	森林環境教育や森林・林業への理解を深める等の森林
風景林	名所、旧跡、寺社等の背景にあり景観を維持する等の森林
森林スポーツ林	キャンプ、クロスカントリー、サイクリング等の場に活用する森林
野外スポーツ地域	スキー場、総合運動場等スポーツ施設や宿泊施設等に活用する森林
風致探勝林	湖沼、溪谷と一体で自然美に優れ、休養や宿泊施設等に活用する森林

一方で、自然探勝や森林浴などの利用者ニーズが増えています。

これらのレク森では、ボランティア団体と連携した歩道のバリアフリー化等の施設整備や、ボランティア団体が講師となって森林教室等を開催しています。

また、東北森林管理局、仁別森林博物館ボランティア案内人会及びアサヒビール（株）秋田支社の三者によるオフイシャルサポーター協定を締結し、仁別自然休養林における案内人会の活動支援や、アサヒビール（株）社員等による森林整備活動及び社員等を対象とした森林教室を開催することとしています。

今年度レク森のリフレッシュ対策として次のとおり計画しています。

①青森森林管理局管内の眺望山自然休養林「展望台の新設等」



ボランティアと連携した歩道のバリアフリー化（青森署）

②十和田市の三八上北森林管理局管内の迷ヶ平自然休養林「東屋の新設」

③米代東部森林管理局管内の岳岱自然観察教育林「歩道のバリアフリー化」

④秋田森林管理局管内の仁別自然休養林「歩道の木道化・東屋の新設等」



ボランティアによる森林教室（後方の建物は仁別森林博物館）

⑤米代東部森林管理局上小阿仁支署管内のからみ内自然観察教育林「景観対策として間伐の実施」

⑥庄内森林管理局管内の高館山自然休養林「景観対策としてナラ枯れ被害木処理」

⑦山形森林管理局管内の千歳・経塚山自然休養林「歩道の修繕」

今後もレク森を訪れていた多くの方々には満足していただけるよう、レク森のリフレッシュを図るため順次施設整備、森林整備等に努めていくこととしています。

子供たちの未来を育む 遊々の森を目指して

仙台森林管理署

当署管内の「遊々の森」は、現在三箇所設定しており、その内、二箇所において協定の有効期間満了に伴い、平成二十一年四月一日をもって更新の協定を締結したので紹介させていただきます。

三箇所の内、最初に設定した遊々の森は、「緑を守り育てる宮城県連絡会議」を相手方とする「二口学習の森」で、仙台市馬場岳山国有林に平成一六年に設定。



緑を守り育てる宮城県連絡会議：遊歩道整備

続いて、仙台市蒲沢山国有林に「里山ねつと赤坂」を相手方とする「蒲沢里山体験の森」を平成一七年に設定。更に平成一八年には、七ヶ宿町刈田嶽国有林に七ヶ宿町を相手方とする「癒しと学習の森」を設定しています。

今回、協定を更新したのは、「二口学習の森」と「蒲沢里山体験の森」の二箇所であり、両団体とも「遊々の森」をフィールドに、様々な活動を実施しています。

「緑を守り育てる宮城県連絡会議」では、森林教室や森の案内人を養成する講座の開催、歩道の整備等を実施しており、遊々の森のフィールド以外でも、山を見る会などの自然観察会の開催や下刈りの林業体験活動など積極的な活動



七ヶ宿町：「癒しと学習の森」看板



里山ねつと赤坂：枝打ち体験

を実施しています。

「里山ねつと赤坂」では、枝打ち体験、町内会や地元小学校と連携しての里山ハイキング等のイベント実施、「蒲沢山植物図鑑」の

刊行、また、不法投棄された散乱ゴミの収集等にも協力していただいています。



里山ねつと赤坂との協定更新
(写真左が高原署長)

また、七ヶ宿町の「癒しと学習の森」については、案内看板や誘導標識の設置を行い、本格的利用に向けての準備が進められているところです。

「遊々の森」は、多様性に富み、豊かな森林環境を有する国有林を継続的に体験活動が展開できる場として提供する制度です。ネイチャーゲーム等の森林での遊び、植生調査や野生動物植物の観察等の森林学習、植林や枝打ち等の林業体験を通じて、自然の大切さなどを学びながら、子ども達の人格形成や生きる力を育む場として、積極的に利用していただきたいと思います。

【森のお話】
…コラム…

山に入る前にすでに
どこにあるかを知っている

—航空写真オルソを活用したマツクイ対策法—

独立行政法人 森林総合研究所 東北支所 研究調整監
中北 理

松枯れは恐ろしい。しかし人間の記憶力は乏しく、見渡す限りの松枯れが生々しい光景を晒している、やがて十年も経つと幹も朽ちて倒れ視界から松が消滅してしまいきます。松がなくなり見通しが良くなると絶景？と感じる人もいられるでしょう。この間にも、子供達は大人になり世代が交代していきます。

いくら山に入って見回したところで、林分の面積、枯れ木の位置や量を正確に把握することはできません。把握時間が遅れば遅れるほど、防除不要な木まで抽出してしまうからです。

すでにマツノサイセンチュウが日本に侵入して約百年、様々な研究がなされ、松枯れの機構も解明され、各地で大がかりな防除対策が取られています。にもかかわらず分布は拡大しています。その原因の一つが防除対策の難しさです。対策の決め手は、マツノマダラカミキリが産卵した枯れ木（要防除木）を如何に見つけ、駆除するかです。この枯れ木を見つけていることが実は容易ではないのです。

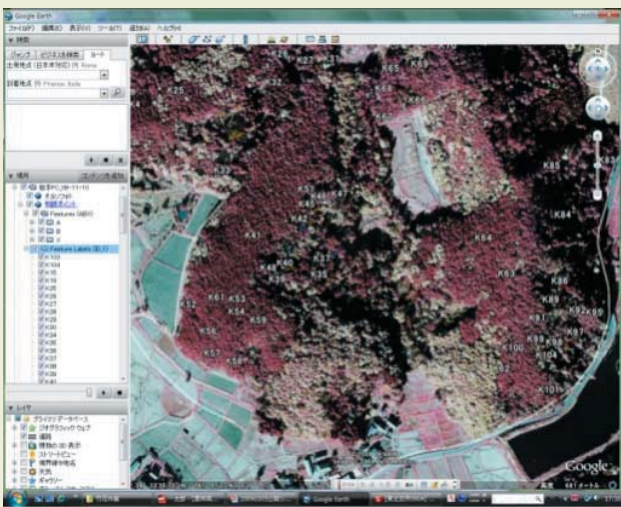


写真1 GoogleEarth上に貼り付けられた精密オルソ画像（岩手県紫波町）
（数値は、写真判読で得られた要防除木の位置）



写真2 精密オルソ画像から判読した位置情報で無人飛行するヘリ
（秋田県立大周辺）

そこで、最適な時期に上空から航空写真を撮影し、最新の技術で精密な画像（精密オルソ画像）を作成します（写真1）。これにより一本一本の樹木が手に取るように把握でき、しかも位置がほぼ40cmの誤差で計測できます。これを判読することによって、どこに、どれだけの要防除木があるのかが一目瞭然になるのです。この方法を用いれば現地での予備調査も不要になり、すぐに見積もることも可能となるでしょう。現場で作業する人も、この情報を使って林内で迷うことなくすみやかに要防除

木に辿り着く事ができます。自律航行型の無人ヘリコプターを使えば、広い範囲を効果的に単木で管理することも可能になります（写真2）。

「精密オルソ画像」を作成することは、管理する人、現場で作業する人のすべてに有効な方法となります。このように日本でこそ発揮できる最新技術を活用した省力的で高い効率の防除法は、松枯れ以外にも活用できます。様々な実利用にむけてさらに研究を進めていきたいと森林総合研究所は取り組んでいます。

もり 森林の市 開催

秋田駅前にも木の香り漂う!

～山菜最盛期大勢の人で賑わう～

指導普及課

恒例の「森林の市」が五月九日（土）JR秋田駅前のアゴラ広場周辺で開催されました。東北森林管理局では一般市民の皆さんに森林とのふれあいの場を提供し、森林・林業に関心を持っていただく機会として毎年この時期に開催しています。

メインステージで挨拶に立った山崎局長は、「今日一日、森林の恵みや木に触れていただき、大い

に自然を体感して下さいます。と述べ、先着二百五十名に「ゴブシ」がプレゼントされた。森林の市がスタートしました。

当日は晴天に恵まれ、出店された、森林管理署や関係団体等が持ち込んだ旬の山菜や木製テーブル、まな板、木馬等の木製品や山野草等が、飛ぶように売られています。木工製作コーナーでは、局職員が中心となり製作指導し、多くの親子連れで人気となり、準備した全ての木工キットがあつという間に製作に入っていました。クラフトコーナーでは、仁別森林博物館案内人のメンバリーが大勢の子供達に



子供連れに人気のクラフトコーナー



職員の指導を受け、親子で木工製作



女子高生による緑の募金活動

めぐりを手伝い、上々の出来映えに子供も大きな歓声が会場一杯に響き渡っていました。

また、青森ヒバの木製品を中心としたブースでは、青森ヒバに含まれるヒノキチオール心地よい香りを漂わせ、市民の皆さんも、「とても良い香りです。」と関心を寄せて



旬の山菜販売に大勢の人が



親子で木とのふれあい

いきました。

出店者からは、「今年には山菜が遅れていたため森林の市に丁度間に合った。良く売れました。」などの声が聞かれ、木製品を購入した方々からは、「木製テーブルが安価に購入出来てラッキーでした。」、「駅前でこれほどの規模で山の幸や木に触れられて幸運でした。」などの喜びの声が聞かれました。

今年も昨年同様（六千人）の来場者があり、緑の募金にも協力いただきました。

参加いただいた出店側の皆さんに感謝を申し上げますとともに、ご来場いただいた市民の皆さんに御礼を申し上げます。



募金者へ苗をプレゼントする山崎局長

四月二十五日、県民の緑化意識の高揚と緑の募金運動への参加を促すため、秋田県、秋田市緑化推進委員会主催、東北森林管理局等が後援の「緑の募金街頭キャンペーン」

森づくりの協力を呼び掛け
緑の街頭募金キャンペーン

総務課



家族4人で来られた秋田市内の沢田終真（しゅうま）君三歳です。達成を待ち望んでいた局指導普及



博物館関係者と達成を記念して

仁別森林博物館では、五月五日、昨年五月のリニューアル以降の来館者が記念すべき五千人を達成しました。開館が十一月三日までの実質六ヶ月間（週四日間開館）での五千人数の来場となったのは、

仁別森林博物館来館者が五千人突破

指導普及課

「ン」が、JR秋田駅前アゴラ広場を主会場に行われました。あいにくの雨模様様の天候でしたが、開会式後の募金活動では、緑の募金・森づくり大使の「森つち」も参加、行き交う市民に対し、募金への協力を呼び掛けました。当局から参加した山崎局長と高倉指導普及課長は第二会場の秋田駅西口ポポロロードへ移動、緑の少年団と一緒に緑の募金の呼び掛けを行い、協力頂いた方々へ、パンジーやキンセンカなどの花の苗をプレゼントしました。

課の担当者から「皆さんが来館五千人目です」と告げられるとピツクリした様子で、記念状と記念品が贈呈されると、喜んでいました。案内人会の皆さんと一緒に記念撮影をし、無事式典を終了しました。また、五月十五日からは初めての企画展として「山菜展」が開催されます。仁別森林博物館周辺で見ることのできる山菜の写真と一部現物で紹介します。是非お出かけ下さい。



完成した秋田署新庁舎

平成二十一年四月十日、秋田森林管理署の新庁舎の披露式に地元関係者外四十名が出席して行われました。旧庁舎は、昭和三十三年に建造されたもので、長い年月に渡り当地域の国有林の管理経営の要として歴史を刻んできました。旧庁舎を解体し建てられた新庁舎は、木造一部二階建て、延べ床面積は五百四十七㎡で、一階が事務室、署長室等となっており、二

秋田署の新庁舎が完成

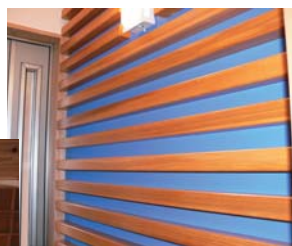
秋田森林管理署

階が会議室、書庫等となっています。新庁舎の特徴としては、木材の利用促進を図る上で、床や壁等を含め、合法性が証明された木材をふんだんに使用したことはもちろん、木質バイオマスエネルギーを

使用するペレットストーブを取り入れ、地球温暖化防止にも配慮しました。また、事務室、玄関ホールにスギの角材を取り付け、色を加えるなど、木と密接に関係のある日本の四季を建物に取り込み、スギを引き立たせたり、旧庁舎の天然秋田スギを玄関ホールの天井や署長室の壁に再利用するなど歴史とぬくもりを感じさせる庁舎となりました。



玄関の天井に使用した旧庁舎の天然秋田スギ



木々の間から見える空色をイメージ

階段が会議室、書庫等となっています。新庁舎の特徴としては、木材の利用促進を図る上で、床や壁等を含め、合法性が証明された木材をふんだんに使用したことはもちろん、木質バイオマスエネルギーを

披露式に出席した山崎局長からは、「新庁舎の完成を機に、改めて、林業・木材産業をはじめとする地域産業の発展や、森林の持つ公益的機能の維持増進に貢献し、開かれた、親しみのある国有林となるよう、職員一同、一層の研鑽を重ね、努力することをお誓いする」と挨拶がありました。

下北森林管理署

下北署モニター依頼式を実施

当署では、開かれた「国民の森林」にふさわしい管理経営の推進に資することを目的に、昨年度より、森林管理局の国有林モニターとして選出された方に、その年を初年度として「下北森林管理署モニター」を二年間依頼しています。これは、当署管内在住の国有林モニターの方々から「モニターをもっと長い期間行つて、国有林のことをもっと知りたい。また、国有林の行事にもっと積極的に参加したい」などの意見があったこと、当署としても、より国有林のことを知ってもらい、様々な意見を聞きたいと考えたことから、下北署モニターを依頼することとしたものです。

四月二十一日に、平成二十一年度「下北森林管理署モニター」の依頼式ならびに当署の取組内容などについて説明を行いました。民法テレビ局や新聞社が取材に訪れる中、今年度新たにモニターとなった浜田栄子さんからは「ヒバやブナが生き生きと成長していける森づくりを提案して行きたいと応募しました」と今後の抱負を語っていたところでした。

なお、モニターを対象とした行事については、署主催行事への案内のほか、年間回数程度、森林整備の状況や治山事業など当署における事業の実施状況について、実際に現地に足を運んでいただきながら理解を深めていきたいと考えています。

当署としては、下北署モニターの活動を通じて、地域の皆様の国有林野事業に対する理解の促進を図ると共に、モニターの方々の意見や要望をこれからの管理経営に役立てていきたいと考えています。



下北署モニターへ当署の取組内容などについて説明

最上支署

真室川梅まつり

四月二十六日、真室川町梅林公園において、第三十七回「真室川梅まつり」が開催されました。

この梅まつりに対して当署では、国有林をPRするため、植菌済みの「椎茸ミニほだ木」のプレゼントを実施しました。

このほだ木プレゼントは、参加者から大好評を得ており主催者の強い要望を受けて毎年実施しています。

当日は、あいにくの天気ではありましたが、小学生の参加者も多く、プレゼントされたほだ木を両手に抱え、大喜びで家族のもとへ走っていく姿などほほえましい光景や、お礼の言葉とともに「大切に育てます」という声がたくさんありました。

「梅まつり」は真室川町の一大イベントであることから、今後とも地域住民とともに参画し、国有林のPRをしていきたいと考えています。



大好評のほだ木プレゼント

～森の仲間の裏話 2～

へえーそうなんだ

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター所長 青山 一郎

衣替え？
換羽のはなし



クマタカ幼鳥
両翼の初列風切P2が欠損

カシラダカの夏羽。冬の雌雄同じ姿から、春には雄が変身。繁殖に向けて衣替えで心機一転、と思われがちですが、見かけの艶やかさとは裏腹に、実はこれ、冬羽の毛先が擦り切れたジャンクファッションです。同じに見える冬羽もめくれば夏の色が見えるので雄雌が判ります。

小鳥類では一般的に秋には全身、春には部分的に羽が生え替わります。一方、大型猛禽類の換羽は数年で一巡。生え替わりがゆっくりなので抜けてる位置で短期的な個体識別が可能。「こいつ、ここまで来た」等が判ります。



カシラダカ(右:♂夏羽、左上:冬羽)
左下:コジュリン♂冬の頭羽
(先端のパフ色が擦り切れると黒くなる)

イ ベ ン ト 情 報

イベント名 「カッチャバ（合戦場）湿原で初夏の昆虫観察」

期 日 平成21年6月13日（土）
 実施場所 山形県西川町大井沢自然博物館・カッチャバ湿原
 （日本一小さいハッチョウトンボの観察、大井沢森林公園散策等）
 募集人員 30名程度
 参加対象者 小中学生の親子
 参加費 大人300円、子供200円
 集合場所 山形県西川町大井沢自然博物館前
 集合時間 9：50



申込み締切 6月5日（金）
 その他 昼食は持参してください
【参加申込みお問い合わせ】
 朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター
 山形県鶴岡市下名川字落合3
 電話：0235-58-1730
 URL：http://www.fureai-kokuyurin.jp/

イベント名 「新緑の白神山地での二ツ森登山」

期 日 平成21年6月14日（日）
 実施場所 秋田県八峰町ぶなっこランド、二ツ森
 募集人員 20名
 申込み締切 5月27日（水）



イベント名 「深緑の白神山地での藤里駒ヶ岳登山」

期 日 平成21年6月27日（土）
 実施場所 秋田県藤里町田苗代湿原、藤里駒ヶ岳
 募集人員 20名
 申込み締切 6月10日（水）



参加費 大人3,500円、子供2,000円（中学生以下）（保険料、記念写真代含む）
 申込み方法 往復はがきに、「イベント名」を明記の上、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記までお申し込み下さい。（応募多数の場合は抽選となります）
 その他 昼食は持参してください



【参加申込みお問い合わせ】
 藤里森林センター 住所：秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3
 電話：0185-79-1003
 URL：http://www.shirakami.or.jp/~fujisatofc/

イベント名 「花の湿原での野鳥観察と不動の滝を観る」

期 日 平成21年6月14日（日）
 実施場所 青森県つがる市 ベンセ湿原 中泊町
 募集人員 20名
 参加費 大人2,000円（バス代・傷害保険料含む）
 出発地 青森市沖館1丁目 8：00出発（旧青森グリーン会館跡地）
 その他 昼食は持参してください



不動の滝



コヨシキリ

【参加申込みお問い合わせ】
 津軽白神森林環境保全ふれあいセンター
 青森県西津軽郡鯨ヶ沢町大字米町25-2
 電話：0173-72-2931
 URL：http://www.tugarushirakami-kokuyurin.jp/



神室山麓名物 「大杉の美林」と「ひっぱりうどん」

山形森林管理署 最上支署 金山森林事務所

佐藤 智博

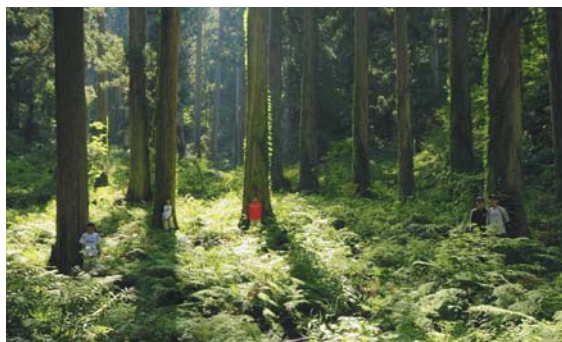
神室山の麓に在る金山町は美しい景観の保持や地域産業の活性化を目的とした「街並み景観条例」として「街並み景観づくり100年運動」を展開している町です。



町の中心地にある大堰

これは100年をかけて自然と調和した美しい街並みをつくっていかうというものであり、白壁と切り妻屋根をもつ、在来工法で建てられた家々が立ち並びどこか懐かしい雰囲気のある町並みです。

また里山にある大杉の美林は世界最大級の貯蓄量を誇るとも言われています。



大美輪の杉美林

私の所属する森林事務所も町との関わりを大切にしており、各種会議や行事等に参加しています。

水源会議では搬出等により発生する泥水や豪雨増水時の対策等を確認しており、普段の巡視でも山のみならず沢・川の点検を行っているところです。

また、町有林監視人としても位置づけられており国有林の垣根を越え町の森林全体の監視をしています。

通常業務では基職4人臨時1人の5人体制で除伐や収穫調査、管理業務等に日々励んでいるところです。

お昼には皆でうどんを食べることが多く、トリモチ・卵納豆の入ったつけダレに釜揚げうどんの要領で食します。

最上地方では「ひっぱりうどん」というそうで隠れた名物です。是非皆さんにも味わってほしい一品です。

最上支署全体ではナラ類集団枯死被害の拡大を防ぐために被害木への薬剤注入や被害箇所ではフェロモン剤による誘因捕殺を行っており、金山管内でも昨年からの被害が発生しているため今後も巡視や調査で見落としがないよう努めて行く考えです。その他の事業と合わせて、森林の適切な保安全管理を行い、地域の皆さんから信頼され愛される国有林をアピールしていきたいです。



神室ダム湖から神室山を望む

我が署の 隠れた名所

下北森林管理署

「猿ヶ森ヒバ埋没林」

(見所の概要)

青森県の下北半島東部に位置する東通村には、太平洋岸に沿って約15Kmにわたり猿ヶ森砂丘が続いています。

かつて下北半島はヒバの大森林地帯でしたが、数千年前から断続的に海から砂が打ち上げられ、立ち枯れたヒバは、飛砂に埋まってしまいました。その一部が猿ヶ森ヒバの埋没林として姿を現し、周囲を覆う松林と埋もれ立枯れたヒバがマッチした不思議な世界を創っています。

静まり返った松林の中に不釣り合いなその姿が、はるか昔の物語を伝えようとしているようです。

なお、特定地理等保護林の「猿ヶ森ヒバ埋没林」は、800年～1,000年以前に埋没したヒバが直立したまま砂に埋もれており、県指定自然環境保全地域にもなっています。



交通アクセス

・むつ市内から国道338号線に入り案内標識を見ながら車で40分。駐車場に車を止めて松林の中を徒歩5分。

お問い合わせ先

〒035-0041 青森県むつ市金曲1-4-6

電話番号：050-3160-5885

FAX：0175-22-1134